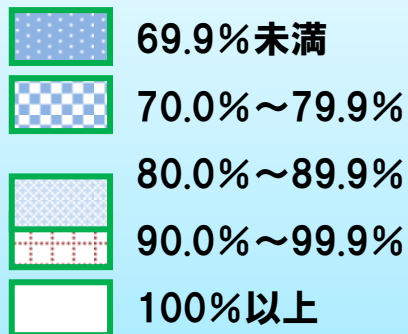


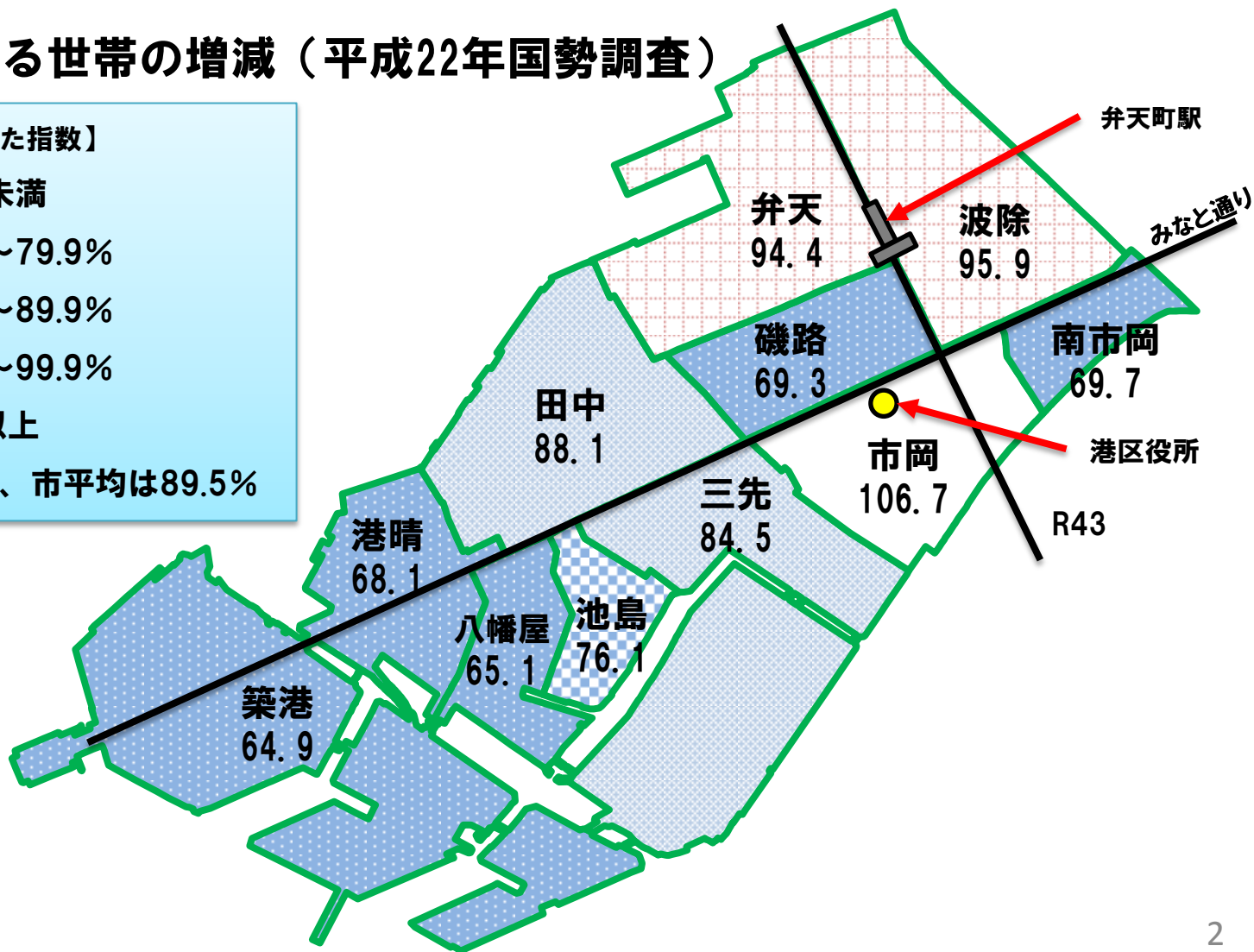
区民主体のまちづくり
に
自律的な地域運営の促進について

18歳未満がいる世帯の増減（平成22年国勢調査）

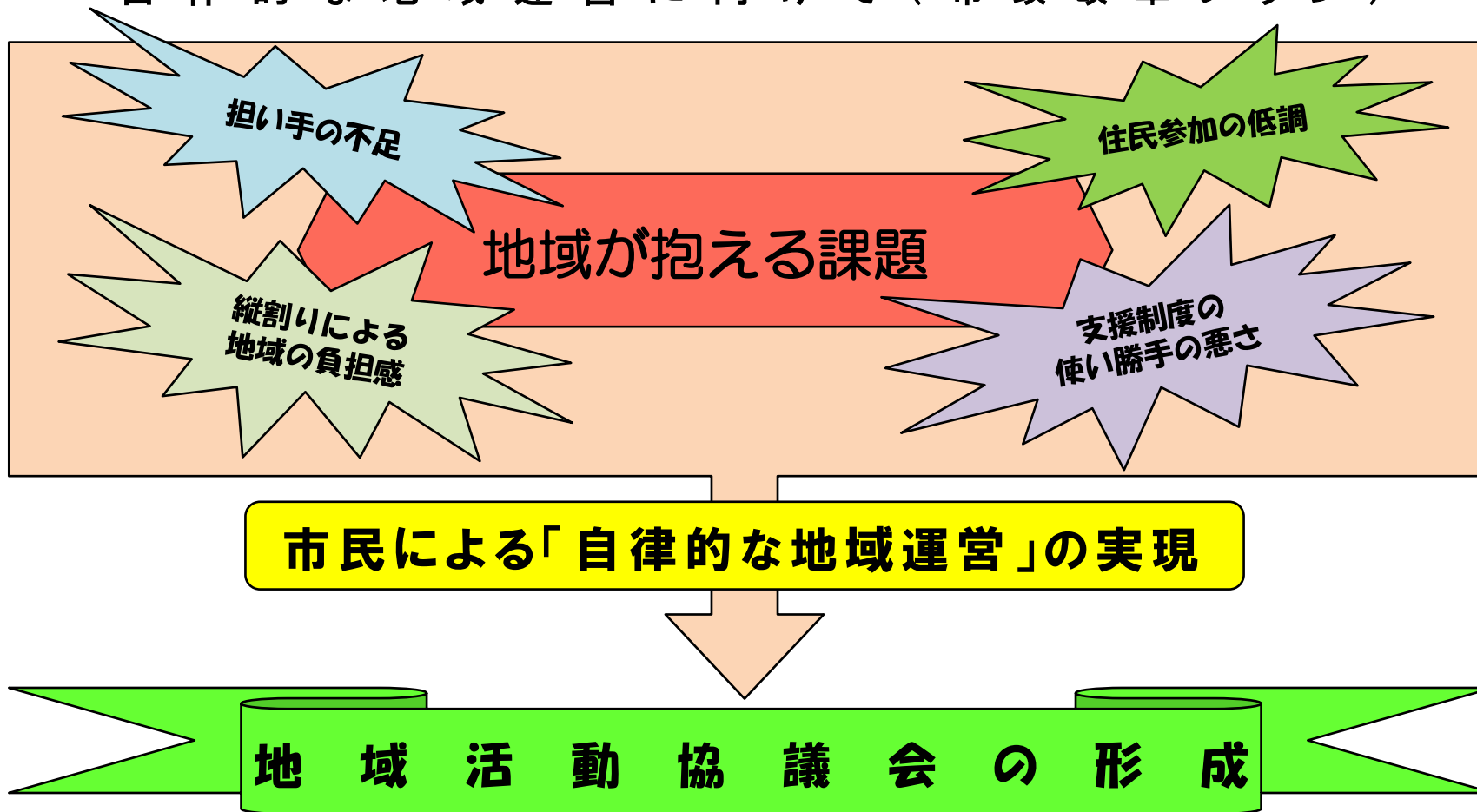
【平成7年を100とした指数】



※ 区平均は83.2%、市平均は89.5%



自律的な地域運営に向けて（市政改革プラン）



自律的な地域運営に向けて（港区）

人材と自主財源の確保

課 題

区役所は地域運営には関わらない

前 提

地域活動に関するキーワード
【防災、防犯、福祉、子ども…】

防災・防犯・福祉

子ども…

- ① 区の基本計画（横系）の下に、各小学校下の行動計画（縦系）の策定を促進（横系と縦系が交わる安全ネットの形成）【主体的な地域活動の促進】
- ② 区民まつりをはじめとしたコミュニティ育成事業の大幅見直し【人材・自主財源】
- ③ 自主財源確保の取組み（コミュニティビジネス・ソーシャルビジネス等）【自主財源】

① 主体的な地域活動の促進

港区 防災、防犯、地域福祉の基本計画（H25年3月策定）

各小学校下の
防災計画(※)
(H26年度策定)

各小学校下の
防犯行動計画
(H26年度策定)

各小学校下の
地域福祉アクションプラン
(H25年度策定)

※ 11校下で延べ186回のワークショップ等を開催

防 災

大阪市

平成26年度

平成27年度

平成28年度

3年間で市内全校下 防災計画 策定(平成26年10月 防災会議決定)

校下の防災担当者が主体的に地域住民へ説明

防災計画策定
(全11校下)

平成27年度
校下防災計画

見直し
検証

平成28年度
校下防災計画

見直し
検証

港 区

避難所開設
訓練実施
(全11校下主催)

避難所
開設訓練

避難所
開設訓練

P D C A

② 区民まつりの大幅な見直し(見直し前)

回 次	平成24年度 第38回港区民まつり 【38年間】	暑い時期 の開催
開 催 日	8月4日(土)〔毎年8月第1土曜日〕	子どもの参加が 難しい時間帯
開 催 時 間	午後6時～午後9時40分	
開 催 場 所	八幡屋公園 多目的広場	会場レイアウトや 出演者の固定化
参 加 団 体 数	22団体	
内 容	【ステージ】(1箇所) ・ たそがれコンサート ・ こどもみこし ・ 民謡大会 など	プログラムの固定化 (コミ協の内部機関で企画)
夜 店	テキヤ(神農会)による出店	高い価格帯！ ごみの散乱！！
そ の 他	区役所が企画運営業務を公募(コミ協)	

～ H25.3

全地域で地活協の形成

チェンジ！

② 区民まつりの大幅な見直し(見直し後)

平成24年度まで38年間		平成25年度 第39回港区民まつり	すごしやすい 季節に！	回次
		10月13日(日)【毎年検討】		開催日
		午前10時～午後4時	親子や高齢者が参加 しやすい時間帯！	開時催間
		八幡屋公園 全域		開場催所
		48団体	当日参加OK！ 参加しやすいプログラム	参団体加数
		【みなりんピック会場】 ・オープン参加の運動会(みなりんピック)の開催 ・地活協による模擬店ブース(10店舗) 【出店ブースⅠ】 ・行政関連ブース(15機関) ・みなトクモンPRブース 【芝生広場】 ・子ども向けイベント(ミニSL・ふわふわ) ・各種出店ブース(13店舗) 【フリーマーケットブース】 ・フリーマーケット(8店舗)	民間出店も含めた 多彩なイベント 多彩な内容のため 人材不足 ↓ 人材の発掘！ ・買いやすい価格で！ ・地活協の自主財源に！ ・ニーズにあったメニュー！	内容
		地活協による模擬店		夜店
		区役所が「コミュニティ育成会議(区役所が設置)の運営と決定された事業の実施」を公募(コミ協)	公募委員含め企画	その他

③ 自主財源確保の取組み

(1) 区役所としての環境整備

地域課題解決型「広報みなと」配布事業（26年度～）

⇒ 地域の高齢者への声かけなど見守り活動として実施。

結果として

7地域の地活協が、10地域で配布事業を受託して実施（27年度）

区広報板へのポスター掲出事業（27年度～）

⇒ 委託契約における見積り比較の対象に地活協を含めた。

結果として

南市岡小学校：NPO法人南市岡地域活動協議会が受託！

児童いきいき放課後事業（27年度～）

⇒ 地域活動協議会も参画（応募）しやすい条件整備。

結果として

南市岡小学校：NPO法人南市岡地域活動協議会が受託！

広報紙配布で取り組む主な地域課題

大阪日日新聞（2014年5月5日：1面）

- 見守りが必要な方の情報把握
- 見守りが必要な方への声かけ
- 子どもだけの留守番世帯の見守り
- 地域の防災・防犯の問題箇所のチェック
- 地域活動の新たな担い手確保
- 地域課題の収集
- 地域情報を直接住民に発信

つながり生かし課題解決

港区は「区の広報紙」広報紙など」の配布を住民でつくる協議会に委託している。住民自身が一軒一軒の家を回り、高齢者の見守りや防犯などの取り組みを展開。誰より地域を知る住民が主役になり、町の課題解決を図る試みだ。

港区 広報紙配布を住民委託



広報紙を配りながら、地域の見守り活動などを展開する住民（港区提供）

各地域活動協議会共同
体」に広報紙の配布を委託。区内11小学校区のうち7校区で配り、高齢者への声掛けや防犯防災に関する問題把握、地域行事の情報発信の強化に当たっている。区が団体に支払う委託料は、地域活動などに自由に充てることができる。

残り4校区は事業者が配布しているが、今回の委託事業の進展状況を判断し、15年度は全校区に広げたいという。田端尚伸区長は「住民のつながりを生かした町づくりを進めたい」と意気込んでいる。（山本圭介）

2014年度
大阪24区
自治事業

▷▷ 22

題が出る恐れが心配されていた。

こうした課題の解決のため、住民をつくる「大

唐待など、さまざまな問
阪市コミュニティ協会・

③ 自主財源確保の取組み

(2) 地域課題の解決に向けた地域の主体的な取組み

南市岡地域（NPO法人南市岡地域活動協議会）

◇ NPO法人設立 → 認証（H26. 11）

◇ 南市岡ふれあい広場（朝市）の開催

→ 地域の防災備蓄品の補強

→ ふれあい広場のサロン化

磯路地域（磯路地域活動協議会）

◇ 「桜通り」の維持管理 → 一部の地域住民で維持管理

◇ 地域全体の課題として共有化（地活協としての取組）

→ 桜まつりの開催（磯路地域のほか、5地活協が参画）

→ クラウドファンディング（INを利用した寄付募集）

樹齢50年、管理の担い手も減り…現状伝えたい

住民が大切に育てた桜があった。市民に親しまれていものの、その由来が知られていなかった桜の並木道大阪市港区にある。約50年前、通り沿いに住む人たちが購入、地域で資金を出し合い苗木を植えて育ててきた。しかし、当時の住戸が高齢になるなど、管理が困難になってきている。地元の人たちは、この現状を広く知ってもらい、応援しようと4日、「桜まつり」といふイベントを開くことを決めた。

住民が大切に育てた桜並木 守ろう

あす港区でイベント



植えられたという。桜は街路樹としては、一般でなく、市道を管理する大阪市は害虫がつきやすいなどの理由で適さないといわれたが、この住民は市に費用は町会が負担し、管理や手入れに責任を持つという条件付きで植樹の住民も地元で育ててきた。だが、こうした歴史は地元で風化。街路樹は市が管理している例が多く、多くの住民も地元で育ててきたことを知らない。それを伝えるために、あす（4日）午前10時から、桜並木道沿いの商店や企業のスポンサー探しをした。当日は港区内の地域の「桜並木道」の町会などで組織する「桜並木道活動協議会」の集まりで、「一体誰が育てたのか」と話題になった。メンバーが聞き取りを始めたところ、南側の地域は住民の「桂香会」といふ組織が、北側は地元町会が、今も管理を担っていることが判明。木の管理や大量の落葉を清掃し続けることが分かった。だが、当時の管理を担っていたのは、約50年前に建てた「桂香会」の石橋光雄さん（79）は、住民同士が顔を合わせた機会にもなる。まずは苗木を植えた先輩方も尋ねるという。メンバーらが「桜まつり」を計画。広く歴史と現状を知ってもらおうと歩みを進めるパネルを展示する。桜まつりでは、市立磯路小学校周辺で午前11時から午後3時に開かれる。

（2）地域課題の解決に向けた地域の主体的な取り組み ②

磯路地域（磯路地域活動協議会）

◇「桜通り」(都市景観資源)の維持管理のために

48年間に亘り、一部の地域住民で継続してきた負担感(労力・財源)

地域全体の課題として共有化

地活協としての取り組み

桜まつりの開催

磯路地域のほか、5地域の地活協が参画

クラウドファンディング
インターネットを活用した
寄付を幅広く募る

地活協で
唯一の
利活用

反響

桜並木の維持管理の課題を、地域を超えて共有化できた！

他の地域が次回以降の参画について意欲を示している！！